

音楽科 *Manifesto*

〈京華中高音楽科からのメッセージ〉

音楽が音学にならないよう、常に楽しい授業を目指します！

男子中高生で音楽の授業が嫌いという声をよく聞きます。音楽を自分で聴くのは好きだけれど、授業の音楽は嫌が多いのです。学校の授業ですから、学ばなければならないこともありますが、とにかく「楽しく！」出来るよう工夫をして授業を進めていきます。

★ Mission 1 授業の道具はオキベン！？少ない授業中に集中して！

中学1年生最初の授業は持ち物の確認、声の出し方から指導します。教科書以外に持ち物は、音楽ノートと筆記用具、予習復習宿題一切なしで道具は学校に「オキベン」（持ち帰らないように）指導しています。その代り週1回の授業は「集中して、楽しく」進めるようにしています。歌唱中心の授業で、正しい姿勢で元気よく伸びのある声で歌えるよう指導しています。

★ Mission 2 中学多目的の時間と連携し、合唱祭を目指す！

2学期後半から、中学生多目的の時間と連携し、毎年2月に行われる合唱祭に向けて練習を始めます。男子中学での合唱行事は珍しく、保護者の方にも大変好評です。中学1年生は元気な声で歌う、中学2年生は美しいハーモニーを創ろう、中学3年生は卒業に向けて歌に気持ちをこめよう、を目標に、ピアノ伴奏、指揮者なども原則生徒の力で行います。

★ Mission 3 高校生の授業はギター中心！

中学校の授業は教科書中心、歌唱に重点を置いて進めていきますが、高校生になると器楽中心の授業になります。ギターは全員分学校にあるので、購入などの心配はいりません。1学期はメロディ中心、2学期はコードネームを学び、伴奏を弾けるよう練習します。ギターを使った弾き歌いにも挑戦します。3学期は、ギターの名曲を弾けるよう練習していきます。音楽の授業は高校1年生で終了ですが、授業がなくなっても、京華では自分で音楽を続ける生徒が多いのも特徴です。

京華中高音楽科は、楽しく授業を進めていきます。進学校ですから音楽授業の時間数は少ないですが、楽しく一緒に学んで行きましょう。

美術科 *Manifesto*

＜京華中高美術科からのメッセージ＞

「どうすればよいか」よりも「どうしたいのか」を大切にします！

「上手い絵」が「良い絵」とは限りません。また「下手な絵」が「良くない絵」とも限りません。では「良い」とはどのような作品でしょうか。それは上手い下手よりも、何かを表現しようと一生懸命作った作品ではないでしょうか。描くことや作ることが苦手でも頑張って制作してみてください。その結果、上手い下手を超えた「良い作品」が出来上がるはずですよ。

★Mission1 「自主性」を身に付ける！

作品は君たち自身のもので、君たち一人一人が作者です。与えられた課題に対し、自分でアイデアを出し自分で考えながら完成を目指してゆきます。成功も失敗も大切な経験です。作品制作を通じて身に付けた自主性や計画性は日常にも必ず生きてきます。

★Mission2 「表現力」を高める！

「言いたいこと」「やりたいこと」は言葉や行動で表現することができます。しかしそのどちらでも表せないこともあります。「言葉で言えないものや目に見えないものを形にする」そこに美術の意味があります。

「自分は何を表現したいのか」を見つめ、柔らかい頭で発想してみてください。きっと自分だけの個性やセンスが見えてきます。授業ではその手助けをしていきます。

★Mission3 「作る楽しさ」を再発見！

中学の美術は絵画・彫刻・デザインを3つの柱とし、学年が上がるごとにレベルアップした課題に取り組みます。物を見て丁寧に描く課題もあれば大胆さが必要な課題もあり、また器用な人が有利な課題もあります。まずは楽しみながら制作できるよう指導していきます。自分で気が付いていない特技が発見できるかも知れません。

高校の美術は1学年しかありませんが、伸び伸びと制作し後々まで残る作品作りを目指します。課題は立体造形を基本とし、普段あまり触れることのない素材を使用することにより物創りの幅広さを体験します。また美術系への進学希望者には別カリキュラムを設け、デッサン等の基礎的な指導も行います。

京華中高美術科は一人一人が「表現したいもの」を発見できるよう指導していきます。答えは人の数だけあります。自分だけの答えを見付けられるよう頑張ってください！